

エコ学区におじゃましました!

平成25年度にエコ学区宣言された学区を対象に、
地域ぐるみのエコ活動の充実につながる
「エコ学区チャレンジプログラム」を実施するエコ学区を
公募し、5学区が取り組まれました。



栗田学区 (東山区)

学区で「省エネ」チャレンジ! ～ 少ない費用で、住まいを快適&省エネに～

「地球温暖化」と「熱」に関する学習会を開催し、冬の快適な省エネのコツについて学びました。その後、2箇月間に渡り、各家庭で住居内の様々な場所の温度を計りながら、断熱マットや節水シャワーヘッド等を活用した省エネ生活を実践しました。さらに家庭での実践情報を持ち寄り、グループに分かれて情報交換会を行うとともに、実践結果を学区内に回覧することで、省エネ意識を広めました。



アルミ・ベニヤ・無垢材・絨毯の4種類の素材を触り、体感温度を比べました。



各家庭で省エネに実践した結果について、様々な情報を共有しました。

(参加者の声)

- ・断熱マットを敷くと、こたつの電源を切った後でもしばらく暖かく、保温効果を実感しました。
- ・天井と食卓の表面温度を比べたら、差が5～6℃ありました。暖かい空気が上方にたまることが分かりました。
- ・節水シャワーヘッドで、水の使用量が減りました。

淳風学区 (下京区)

学区で「エコ×防災」チャレンジ! ～ ゲームを通して、楽しく学ぶ～

町内の防災訓練・すこやか学級に併せ、学習会を開催しました。気候変動問題と災害の関係についての話を聞いた後、難しい決断に迫られる災害対応をカードゲーム形式で楽しみながら疑似体験できる「クロスロード」を用いて学びました。

また、エコと防災の取組についてのチェックシートを盛り込んだ教材を作成し、回覧板で全戸に情報を発信することで、取組の実践を呼びかけました。



設問を受け、YES/NOのカードで意思表示した後、理由を話し合いました。



「ソーラーLEDライト」などのエコにも防災にも役立つグッズを紹介しました。

<クロスロード>

5～7人のグループに分かれ、「久しぶりに防災グッズを確認したら、非常食の乾パンの賞味期限が過ぎていました。捨てますか?」などの設問について、カードを用いて参加者が意見を出し合い、楽しみながら合意形成の訓練ができるゲームです。

豊園学区 (下京区)

学区で「リメイク」チャレンジ! ～ 捨てるには、もったいない～

ごみ減量や冬の省エネについての学習会の後、家にある「もう着られないが、捨てるにはもったいない」衣類を使って、コサージュとネックウォーマーを作るリメイク体験会を行いました。

その後、リメイクの取組をどのように学区に広げていくかのアイデア会議を行い、エコを楽しく、子どもたちにつなげていくための取組を検討しました。



衣類の再利用の意義や、楽しく活かす取組の重要性について学びました。



参加者が持ち寄った、お気に入りの柄や肌触りの良い衣類を材料にしました。

(参加者の声)

- ・エコの工夫など、本当に多くのことを知りました。暖房はエアコンに切り替えました。負担にならない範囲で色々やってみたくです。
- ・手作りの楽しさが地域で広まれば、子どもたちにもエコな取組についてちゃんと伝わります。

待賢学区 (上京区)

学区で「創エネ」チャレンジ! ～ ミニ・ソーラー発電所をつくろう～

待賢まちづくり委員会が主催する「たいけんふれあいカフェ」にて、創エネの体験会を開催しました。まずは独立型太陽光発電システムの仕組みを学び、その後実際にミニ太陽光発電所の組立てと発電テストを行い、さらに今後の活用方法について考える話し合いを行いました。エコ学区の支援物品「リヤカー」と組み合わせ、移動式の太陽光発電システムができました。今後、学区の行事などで活用することで、自然エネルギーや省エネへの関心を広めていきます。



ソーラー発電に必要な機器を、参加者で役割分担しながら接続しました。



接続した機器で、実際に発電できるのか、テストを行いました。

(参加者の声)

- ・改めて太陽光の力のすごさを感じました。もっと実用化していくべきだと思いました。
- ・ソーラーパネルの可能性を知ることができました。これから、色々な場面で活用していきたいと思います。
- ・太陽光発電は実際に行いやすいそうなので色々試したいです。

南太秦学区 (右京区)

学区で「エコなおでかけ」チャレンジ! ～ 財布に、人に、地球にやさしい～

公共交通などエコな移動手段についての学習会を開催した後、2週間普段どおりに車を運転し、燃費を測定しました。その後、路上講習会で実際にエコドライブを実感した後、2週間エコドライブを実践し、燃費を測定しました。参加者が意識してエコドライブを実践したことで平均12.5%燃費が改善され、地域におけるエコな移動の大切さを広めることができました。



平成19年度から実施している地域の交通の取組についても、おさらいしました。



運転技術だけでなく、ルートの取り方ひとつでも燃費に差がでることを学びました。

(参加者の声)

- ・普段は気にしなかったが、今後注意して運転します。
- ・意識することで、色々な無駄が省けると実感しました。
- ・実際「エコドライブ」で運送会社の事故が減り「安全運転」が定着、会社のコストも削減できたというニュースを耳にするとうれしいです。